

令和 2 年度
第 80 回全日本ウエイトリフティング選手権大会
第 34 回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会

実 施 要 項 (2020.10.08 Ver.1)

1. 主 催 公益社団法人日本ウエイトリフティング協会
2. 主 管 新潟県ウエイトリフティング協会
3. 後 援 津南町、ニュー・グリーンピア津南
4. 期 日 令和 2 年 12 月 11 日(金)～12 月 13 日(日) 3 日間
5. 会 場 ニュー・グリーンピア津南 体育館
(1) 所在地 : 新潟県中魚沼郡津南町秋成 12300
(2) 連絡先 : TEL 025-765-4944
(3) 最寄駅 : 上越新幹線・越後湯沢駅下車 宿泊者専用送迎バスで 約 50 分
飯山線・津南駅下車 タクシーで約 20 分
6. 実施階級 男子 10 階級
55 kg級・61 kg級・67 kg級・73 kg級・81 kg級・89 kg級・96 kg級・102 kg・109 kg・+109 kg級
女子 10 階級
45 kg級・49 kg級・55 kg級・59 kg級・64 kg級・71 kg級・76 kg級・81 kg級・87 kg級・+87 kg級
7. 競技種目 規定 2 種目(スナッチ・クリーン&ジャーク)
8. 競技方法 令和 2 年度(公社)日本ウエイトリフティング協会制定の競技規則による。
・新型コロナウイルス感染症対策の特別ルールを設ける。

9. 日 程 (予定)

12 月 10 日(木)	審判会議	17:00～		ニュー・グリーンピア津南
	階級	選手数	検量開始時刻	競技開始時刻
12 月 11 日(金)	55・61 kg級	10	8:00	10:00
	W 45・49 kg級	10	10:00	12:00
	67・73 kg級	10	12:00	14:00
	W 55・59 kg級	10	14:00	16:00
12 月 12 日(土)	W 64・71 kg級	10	8:00	10:00
	81・89 kg級	10	10:00	12:00
	W 76・81 kg級	10	12:00	14:00
	96・102 kg級	10	14:00	16:00
12 月 13 日(日)	W 87・+87 kg級	10	8:00	10:00
	109・+109 kg級	10	10:00	12:00

◎参加人数により、日程を変更する場合もある。(変更する場合は、事前に周知する。)

10. 使用バーベル (公社)日本ウエイトリフティング協会公認バーベルとする。
11. 参加資格
 - (1) 2005 年以前に生まれた者(12 月 31 日までに 15 歳になる者)。
ただし、中学生については保護者および所属長の同意書を添付すること。
 - (2) 令和 2 年度登録選手であること。
 - (3) 平成 30 年度・令和元年度・令和 2 年度のブロック大会以上の競技会において、次に定める標準記録に到達し、各都道府県協会(含学連)会長の推薦のある者。
 - (4) 下記階級の標準記録に到達している場合、本大会への申し込み階級は任意とする。

(例)

61kg級の標準記録に到達していれば、申し込みは61kg級以外の階級でも可能である。

なお、開催地に登録簿がある選手については、標準記録に到達していなくても出場を認める場合がある。

【旧階級】

男子階級	56 kg級 - 215kg	85 kg級 - 285kg
	62 kg級 - 240kg	94 kg級 - 295kg
	69 kg級 - 260kg	105 kg級 - 300kg
	77 kg級 - 275kg	+105 kg級 - 310kg
女子階級	48 kg級 - 120kg	69 kg級 - 160kg
	53 kg級 - 135kg	75 kg級 - 165kg
	58 kg級 - 150kg	90 kg級 - 165kg
	63 kg級 - 155kg	+90 kg級 - 165kg

【新階級】

男子階級	55 kg級 - 215kg	89 kg級 - 290kg
	61 kg級 - 235kg	96 kg級 - 295kg
	67 kg級 - 255kg	102 kg級 - 300kg
	73 kg級 - 265kg	109 kg級 - 305kg
	81 kg級 - 280kg	+109 kg級 - 310kg
女子階級	45 kg級 - 120kg	71 kg級 - 160kg
	49 kg級 - 130kg	76 kg級 - 165kg
	55 kg級 - 150kg	81 kg級 - 165kg
	59 kg級 - 155kg	87 kg級 - 165kg
	64 kg級 - 160kg	+87 kg級 - 165kg

(5) 上記制限記録に達している者の中から、上位5名(同位は認める)を原則に選抜し参加を認める。

(6) 本大会は、令和2年度国内のTUE事前申請が必要な競技大会として指定されている大会である。

TUE(治療使用特例)申請に関しては、以下URLを参考に大会の30日前までに申請すること。

(参考 URL:<http://www.realchampion.jp/download/6>)

12. 参加申込

(1) 参加申込書の申込責任者は、都道府県(含学連)会長とする。

(2) 所定の用紙(様式1・2号)により、下記に郵送で送付すること。

また、参加申込書は、郵送と同時にEメールにてデータを送信のこと。

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square 7階

(公社)日本ウエイトリフティング協会事務局

TEL 03-6434-0681 Fax 03-6434-0682

Eメール weightlifting@japan-sports.or.jp

(3) 参加申込期日 令和2年11月12日(木)17時必着

13. 出場承認

(1) 参加資格審査会において、出場承認をする。

(2) 出場不承認者には、11月16日(月)までに申し込み責任者あて連絡する。

(3) 出場承認者には、参加料振込要領、PCR検査申込書(監督・コーチ含)など、申込責任者あて連絡する。

14. 参加料

出場承認者は参加料振込要領によって納入する。(申込時の振込は不要)

(1) 金額 1名 10,000円 (PCR検査代を含む)

(2) 締め切り 令和2年11月24日(火)

15. 表彰

(1) 各階級のトータル、1位から3位までに賞状・メダルを授与する。

(2) 各階級の種目別、1位から3位までに賞状を授与する。

16.ドーピング検査

- (1) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規定に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- (2) 本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規定に従い、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなす。
- (3) 18歳未満の者については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続きに対する親権者からの同意書を日本ウエイトリフティング協会へ別途提出している者のみエントリーできる。
- (4) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規定違反となる可能性がある。
- (5) アンチ・ドーピング規定違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規定に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- (6) 競技会・競技会外検査を問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技または運動終了後2時間の安静が必要となるので留意すること。
- (7) 日本アンチ・ドーピング規定の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)で確認すること。

その他

- (1) 本大会は、新型コロナウイルス感染症対策として、特別ルールにより開催する。別紙「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」を熟読し、大会の趣旨を理解した上で参加すること。また、主催者から発出される新型コロナウイルス感染症対策の最新の情報に従うこと。
- (2) 申込後の参加料については、出場不承認者を除き、地震・豪雨等の天災や感染症等、主催者の責任でない場合を含め、いかなる事由でも返金しない。
- (3) 本大会の成績を、国際大会へ派遣する候補選手の選考会資料とする。
- (4) 競技中における選手の傷病事故については、主催者側での応急の処置はするが、その後の責任者は、主催・主管とも追わないものとする。
- (5) プログラムに掲載する個人情報は、氏名・所属名・都道府県名・生年とする。
- (6) 中学生の参加同意書(本協会ホームページで案内)は申込と同時に日本協会へ提出すること。
- (7) 出場が認められた選手は指定するPCR検査を受け、陰性が証明された者のみ参加を認める。また、監督・セコンド等も会場に入場の際は陰性であることが証明された者に限るので、各自検査を受けること。(PCR検査の方法については別途通知する。同行者の検査も斡旋もする)
- (8) 選手の同行者(監督・コーチなど)は、事前申請したものに限る。申請方法は出場承認者宛に連絡する。
- (9) 入場の際は、健康観察票の提出と検温を実施し37.5度以上、体調不良者の入場は制限する。
- (10) 関係者以外の入場を制限する、無観客試合とする。
- (11) 宿泊については、感染症予防対策として出場選手及び監督、セコンド(会場入場者)は、会場内ホテル宿泊を原則とすること。(詳細については、別途宿泊要項を参照のこと)
- (12) 新型コロナウイルスの感染状況により、本要項を変更する場合もあるので、最新の情報を協会ホームページで確認すること。(本要項は、2020.10.8 Ver.1)
- (13) 大会期間中に、本大会にエントリーしない2020東京オリンピック候補選手による「エキシビジョンマッチ(仮称)」の開催を計画しています。詳細については出場選手決定後に公表します。

【感染症対策のための主な特別ルール】

- ・選手紹介は行わない
- ・炭酸マグネシウムはプラットホーム近くに置かず、個人別に配布されたものを使用する。
- ・セコンドについては、1選手2名とする。2名の選手の場合3名とし1選手増える毎に1名増とする。
- ・PCR検査で、陰性者のみ参加を認める。(大会前の指定検査による)
- ・大きな声での指示・声援は行わない。
- ・3密を避け、ソーシャルディスタンスを保つ。
- ・競技中の選手を除き、マスク(フェイスシールド等の飛沫感染対策品)を着用する。
- ・監督会議は開催せずに、連絡事項について書面で配布する。
- ・棄権する場合は、協会事務局にメールで届け出ること。なお、選手決定後の参加料の返却は行わない。また、PCR検査も申込み後は検査料金の返却は行わない。